

## 令和6年度事務事業の事後評価結果と改善策

資料1

令和6年度の事務事業の事後評価結果と改善策について、次のとおり決定します。  
ただし、令和8年度以降に行う改善策については、当該年度の予算編成の中で決定します。

### 1. 令和6年度事後評価概要

令和7年6月から7月にかけて、令和6年度に人件費および事業費等の経費を要した事業のうち、第四次総合計画に位置付けている施策に紐づく事務事業188件について、担当部課による事後評価を行いました。事務事業の評価結果の概要は、次のとおりです。

※令和4年度からスタートした「第四次総合計画」に合わせて事務事業を見直し、細分化していた事務事業を集約しています。(参考：令和3年度事務事業数 941件)

事務事業の総合的な評価	件数
順調	107件
ほぼ順調	78件
順調とはいえない	3件
事後評価実施件数	188件

事後評価における今後の方向性	件数
現状通り推進する	168件
事業内容を見直す	12件
事業を拡大する	6件
事業を縮小する	2件
事後評価実施件数	188件

※総合的な評価と今後の方向性の相関

#### 事業の方向性

総合的な評価	事業の方向性				
	現状通り推進する	事業内容を見直す	事業を拡大する	事業を縮小する	
順調	98	4	5	—	107
ほぼ順調	69	7	1	1	78
順調とはいえない	1	1	—	1	3
	168	12	6	2	188件

## 2. 事後評価結果に基づく改善の方向性

今後の方向性として、改善を要する(事業内容を見直す・事業を拡大する・事業を縮小する)と評価した事務事業は、次の20件です。

1	事業名	高齢者の生きがいと健康づくり		担当部課	健康福祉部 高齢者支援課
	事務事業の目的・概要	高齢者が生きがいを持って充実した生活を送ることができるよう、地域で住民同士が交流できる場や健康づくりに参加できる環境を整えるとともに、就労機会の確保に努めます。			
	事業に対する評価／コメント	ほぼ順調	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響から徐々に回復してきています。前期高齢者の生活様式の変化や後期高齢者の増加などにより目標値に届かない事業がありますが、市内の高齢者の年齢構成や60代の就労状況を鑑みれば概ね順調であると考えられます。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響から徐々に回復してきているものの、前期高齢者の生活様式の変化や後期高齢者の増加などにより目標値に届かない事業があります。高齢者の生きがいと健康づくりのために今後も推進していく必要がありますが、内容等は適宜見直していきます。老人福祉センター(令和7年度より高齢者福祉センターに改称)は、施設の老朽化による維持コストの増加、利用者の固定化などの理由から、2館を1館に統合して運営します。		

2	事業名	高齢者在宅支援事業	担当部課	健康福祉部 高齢者支援課
	事務事業の目的・概要	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、市民団体や福祉サービス事業所など、あらゆる主体と協力しながら、身近な場所で必要な生活支援サービスを利用できる環境をつくります。		
	事業に対する評価／コメント	ほぼ順調	後期高齢者の増加などにより要介護認定の状況や生活状況が変化し、目標値に届かないと考えられる事業がありますが、市内の高齢者の年齢構成を鑑みれば概ね順調と考えられます。	
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	前期高齢者が減少し後期高齢者が増加する傾向が続いており、要介護認定の状況や生活状況が変化することに伴い、サービスなどの要望も変化していくと考えられます。高齢者が住みなれた地域で安心して暮らし続けるためには必要な事業であり、内容については適宜、見直していきます。	

3	事業名	障害者の社会参加・自立支援	担当部課	健康福祉部 障害者福祉センター
	事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の公共施設やサービス提供機関、市民団体などと連携を図り、障害のある人が自立できるよう、日常生活訓練や運動機能訓練を行います。</li> <li>・障害のある人がイベントなどに参加できるよう支援し、障害に対する理解を深めます。</li> </ul>		
	事業に対する評価／コメント	ほぼ順調	民間施設等と連携を図りながら社会参加支援ができました。	
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業を縮小する	令和8年度をもって施設の利用を終了することから、障害者福祉センターで実施している各事業について方針を決定していきます。	

4	事業名	未就学児の教育・保育環境の充実	担当部課	子ども部 保育課
	事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して子どもを産み育てられるよう、保育ニーズに応じた人材の確保と保育の質の向上に取り組みます。</li> <li>・保護者の多様なニーズに対応するため、幼稚園などさまざまな子育てのための施設の利用者支援や延長保育に対する支援を行います。</li> </ul>		
	事業に対する評価／コメント	順調	必要な家庭に保育を提供し、安心して子育てができる環境を提供しました。	
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育需要が増加する中、保育園運営事業等を現状通り推進するためには、保育士の確保が課題となっています。</li> <li>・私立保育園等及び私立幼稚園への補助金について、市の財政状況を踏まえ、削減する方向で見直しを実施していきます。</li> <li>・休日保育事業は、事業内容の見直しを行った結果、令和6年度をもって終了します。</li> </ul>	

5	事業名	子ども総合相談の推進	担当部課	子ども部 子ども相談課
	事務事業の目的・概要	<p>虐待、育児、不登校、非行、いじめ、健康、障害、教育など子どもに関するあらゆる相談に対して、児童相談所や学校、警察などの関係機関との連携を強化し、適切に対応できる体制の充実を図ります。</p>		
	事業に対する評価／コメント	順調	すべての事務事業を滞りなく遂行し、新たな相談窓口の設置運用についても対象者から好評であったため、順調と評価しています。	
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業を拡大する	こども家庭センターの設置と運用を開始し、現在の機能を維持しながら母子保健担当との連携を強化し、より良い相談しやすい体制を整備します。	

6	事業名	発達支援が必要な子どもの早期発見		担当部課	子ども部 こども発達センター
	事務事業の目的・概要	発達に支援が必要な子どもを育てる家庭において重要な保護者の「気づき」を促し、発達特性や障害への理解の促進と親子の愛着関係を育めるように家族への支援を行うとともに、発達に支援が必要な子どもの早期発見につながる取組を進めます。			
	事業に対する評価／コメント	ほぼ順調	発達に支援が必要な子どもと障害のある子どもを早期に発見し、早期療育につなげ、子どもの発達支援や保護者の相談や支援を行い、保護者が安心して子育てができるように支援することができました。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	ライフダイアリーについては、平成28年度から出生届提出時に全戸への配布を行ってきましたが、アンケート調査により活用率が低かったため、全戸への配布は終了します。今後は、配布対象を焦点化して、保護者と支援者双方にとって活用しやすいように様式を見直していきます。		

7	事業名	長期欠席児童生徒対策事業		担当部課	教育総務部 教育相談センター
	事務事業の目的・概要	保護者や児童生徒の相談に適切に応じ、悩みを解消することで児童生徒が楽しい学校生活を送れるようにするとともに、不登校の児童生徒もさまざまな学びや経験ができる環境づくりを図ります。			
	事業に対する評価／コメント	ほぼ順調	不登校率は依然として高い数値となっています。小学校5校に校内教育支援センターを増設して指導員を配置し、中学校全6校と小学校8校にて運営しました。教育相談センター及び教育支援センター「かけはし」「ひだまり」と連携しながら、教室に入ることが難しい児童生徒の教育機会を確保しました。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業を拡大する	令和7年度4月に校内教育支援センターを小学校に3校に増設し、7年度末までには全校配置を目指します。各小中学校と教育相談センター、教育支援センター及び校内教育支援センターが密に連携を取り、不登校の児童生徒の支援にあたっていきます。		

8	事業名	小中学校ICT教育の推進	担当部課	教育総務部 指導課
	事務事業の目的・概要	「学習の基盤となる資質・能力」である『情報活用能力』を育成するため、情報教育のカリキュラム作成、教職員の指導力向上、ICTの環境整備と活用に取り組みます。		
	事業に対する評価／コメント	順調	情報教育に関わる研修会を充実し、児童生徒の学習でのパソコン活用の満足度も高いことから順調と評価しています。	
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業を拡大する	第2次教育ICTとして、令和7年9月から新たな一人一台端末を配布するとともに、協働学習支援、AIドリル、英語4技能などの学習支援ソフトウェアを導入します。新たなICT環境を活用し、「協働的な学び」と「個別最適な学び」の一体的な推進をさらに充実していきます。	

9	事業名	子どもの自主性を育むイベントの実施	担当部課	子ども部 子ども支援課
	事務事業の目的・概要	子どもたちが心豊かに成長できるよう、家庭・学校・地域・行政が連携しながら、地域に根差したさまざまな体験や活動に参加できる環境づくりを進めるとともに、青少年の健やかな育成に対する地域住民の理解を深める取組を進めます。		
	事業に対する評価／コメント	順調	げんきフェスタやあびこ子どもまつりについては、多くの子ども達が参加し地域に根差したイベントであることが確認できました。企画内容や運営方法については、年毎に見直しを図り次年度以降に反映し、より一層楽しめるイベントに努めます。	
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	手賀の丘宿泊事業については、令和7年度より市主催ではなく青少年相談員連絡協議会が主催となり実施していきます。各種イベントや青少年相談員へ適切な支援を行い、様々な体験や活動の機会に触れることが出来る環境づくりに努めます。	

10	事業名	企業が進出・操業しやすい環境づくり(住工混在の解消、企業が進出しやすい環境整備)	担当部課	環境経済部 企業立地推進課
	事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域経済の活性化と雇用機会の拡大を図るため、産業用地を創出し、企業誘致や住工混在の解消などに取り組みます。</li> <li>・企業立地を促進させるため、新規立地による設備投資及び雇用を創出する企業に対して支援を行うとともに、再投資により事業の拡大及び雇用の拡大を図る既存企業に対して支援を行います。</li> </ul>		
	事業に対する評価／コメント	順調とはいえない	事業主体である共同企業体から事業撤退の意向が示され、今後の事業の先行きが見えない状況となりました。	
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	共同企業体と成果物の引渡しを含めた事業終了に向けた協議を進めていくとともに、計画地における盛土層など課題を踏まえながら、新たな活用方法を検討していきます。	

11	事業名	住居に関する相談・支援	担当部課	都市部 建築住宅課
	事務事業の目的・概要	誰もが暮らしやすい良好な住環境を保全・形成していくため、住まいに係る支援や情報提供などの充実、空き家バンクの活用促進を図ります。		
	事業に対する評価／コメント	ほぼ順調	住まいに係る補助事業は申請件数が見込みを下回ったものの、事業全体では一定の利用実績があったことから、ほぼ順調と評価しています。	
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	住宅リフォーム補助事業については、転入者の増加に向けた取り組みの視点を加えるとともに、事業費削減を図るため、令和7年度中に事業内容の見直しを実施します。その他の事業については、効果的な制度の周知等を検討するとともに、専門家等と連携した支援や情報提供の充実に努めていきます。	

12	事業名	景観まちづくりの普及啓発	担当部課	都市部 都市計画課
	事務事業の目的・概要	景観づくりを進める市民団体などと協働で景観に関する情報発信や景観ポイントの魅力化に取り組み、市民・事業者の景観に対する関心と理解を深めていきます。		
	事業に対する評価／コメント	順調	景観まちづくりの普及啓発事業について、全ての個別事務事業を概ね問題なく実施し、かつ、「我孫子のいろいろ八景歩き」や「景観まち探検」は参加者から好評であったため、順調と評価しています。	
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	市民団体と連携して試行的に実施した小学生対象の普及啓発事業「景観まち探検」が好評であったため、令和7年度は事業内容をブラッシュアップして本格実施します。また、「景観まち探検」分の経費を加算しても事業全体の経費を令和6年度以下に抑え、かつ、各個別事務事業の実施効果を高められるよう、「我孫子のいろいろ八景歩き」等の既存事業の実施手法を見直すこととしました。	

13	事業名	環境学習の推進	担当部課	環境経済部 手賀沼課
	事務事業の目的・概要	手賀沼の水質浄化や水環境の保全に関する意識啓発を図るため、市民に手賀沼や環境について学ぶ機会を提供するとともに、市民の環境保全活動を支援していきます。		
	事業に対する評価／コメント	ほぼ順調	昨年度よりも環境学習事業の実施回数が減少してしまいましたが、アンケートの結果からも、参加者の満足度は高く、船上学習と合わせて、概ね好評でした。	
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	環境レンジャーの解散に伴い、これまでの実施してきた環境学習メニューが減ってしまうため、新たな環境学習事業の検討が必要となります。	

14	事業名	古利根沼水質汚濁防止		担当部課	環境経済部 手賀沼課
	事務事業の目的・概要	古利根沼の水質汚濁を防止するため、浄化施設を適正に管理するとともに、市民の協力を得て水辺の清掃を実施します。			
	事業に対する評価／コメント	順調とはいえない	中峠排水路浄化施設については1月に機器が故障し施設を停止したため、維持管理回数が減っています。なお、古利根沼の水質(CODの年平均値)は目標値以下を維持しています。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業を縮小する	中峠排水路浄化施設の流入水の水質が大幅に改善されていることや修繕には高額な費用が掛かることを勘案し、同浄化施設を停止したうえで今後は撤去に向けた検討を進めていきます。		

	事業名	スポーツの奨励	担当部課	生涯学習部 文化・スポーツ課
	事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害の有無や年齢に関わらず誰もが生涯にわたってスポーツに親しめるよう、スポーツ関係団体などと連携し、スポーツの普及活動とスポーツを楽しめる環境づくりに取り組みます。</li> <li>・健康の保持増進や地域のコミュニティづくりを図るため、スポーツ推進委員などと連携し、誰もが気軽に参加できる総合型地域スポーツクラブなどの団体を支援します。</li> <li>・スポーツの普及と競技力向上のため、スポーツ指導者の養成に取り組みます。</li> <li>・スポーツ人口拡大のため、民間のスポーツクラブや大学などの教育機関、近隣市と連携し、使用できる施設やスポーツを指導する人材の確保などに取り組みます。</li> </ul>		
15	事業に対する評価／コメント	順調	<p>我孫子市スポーツ推進計画に則り、「誰もが生涯にわたってスポーツに親しむまち我孫子」の実現を目指し、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ協会など関係者団体と連携してスポーツイベントを実施することができました。また中学校の部活動地域移行では、県の実証事業を受託し、先導的に3つの部活動について休日の部活動を地域スポーツ指導者に委ね、課題点の整理ができました。民間スポーツ施設との連携では、夏期の子ども向けプール開放事業を市内民間屋内プールを利用する形で実施し、利用者から大変好評でした。</p>	
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業を拡大する	<p>部活動の地域移行では、令和6年度の課題を整理し、全6中学校各校1部活以上に対象を拡大して休日の地域クラブ活動を実施します。また、令和8年度以降の本格展開に備え、地域クラブ活動の管理・運営体制の検討を進めます。</p>	

16	事業名	市民公益活動の推進	担当部課	市民生活部 市民協働推進課
	事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生など若い世代が市民公益活動に参加するための効果的なアプローチ手法を検討するなど、市民公益活動への参加を促し担い手づくりに取り組むとともに、あびこ市民活動ステーションで実施するイベントや担い手対策事業などを通して市民公益活動を支援します。</li> <li>・市民公益活動への理解促進を図るため、若い世代や子育て世代、高齢者など、各年代に応じた情報発信を実施します。</li> <li>・市民活動団体が自立した活動を行えるよう、支援していきます。</li> </ul>		
	事業に対する評価／コメント	順調	市民活動ステーションと連携し、市民活動団体を支援するための情報発信、市民活動を始めたいと考えている市民への情報発信・イベントを行うことで市民活動の活性化を推進し、活動に参加する市民が増えたことで、順調に協働のまちづくりが進んでいます。	
今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業を拡大する	引き続き、市民団体等と行政が、それぞれの役割を分担しながら協働してまちづくりを進めていきます。さらに、新たに設置した市民活動推進基金を原資として、若い世代の市民活動への参画を促進するための新事業を開始します。これにより、市民活動のさらなる活性化だけでなく、市民活動に対する市民の意識を向上し、市民が市民団体を支援する寄付文化の醸成に取り組みます。		

	事業名	行政情報の発信	担当部課	企画総務部 秘書広報課
	事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民と市が情報を共有できるよう、広報あびこや市ホームページなどの充実を図ります。</li> <li>・市政や市民の暮らしに関する情報を正確にわかりやすく伝えるため、新聞、テレビ、ラジオ、インターネットなどのさまざまな媒体を積極的に活用し、情報を提供します。</li> </ul>		
17	事業に対する評価／コメント	ほぼ順調	<p>広報あびこやホームページ、市LINE公式アカウントを活用し、市の情報を分かりやすく迅速に発信できるよう努めました。また、報道機関に情報提供することで、市の施策や魅力を広く伝えることができました。さらに、ホームページの検索システムを改修し、情報発信力を強化することができました。一方で、ふるさと大使のナイツ塙宣之氏が出演する広報動画は、一定の再生回数はあるものの、当初予定していた再生回数に達することができませんでした。</p>	
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	<p>ふるさと大使のナイツ塙宣之氏が出演する広報動画については、令和7年度は一時休止とし、新たな手法を検討します。</p> <p>その他の事業については、多様化する市民のニーズに対応し、市政や市民の暮らし等に関する情報提供が必要であるため、今後も現状通り推進します。報道機関への情報提供は、情報の速報性や市民への浸透性に優れていることから、今後も継続し、市の施策や魅力を積極的にPRします。</p>	

18	事業名	市民ニーズの把握と反映		担当部課	企画総務部 秘書広報課
	事務事業の目的・概要	<p>・多様化する市民ニーズを的確に把握して市政に反映できるよう、市政への手紙・メール、市政ふれあい懇談会、パブリックコメント、アンケートの実施など、広く市民の意見や要望を聴く機会の充実を図ります。</p> <p>・会議の開催の工夫や公募市民の登用拡大などにより、政策形成過程全般への市民参加を進めます。</p>			
	事業に対する評価／コメント	順調	<p>eモニターは登録者数が増加し目標値を上回るなど、広く市民の意見を聴くことができました。また、市政ふれあい懇談会は、前年よりも市民の参加者が増加しました。このほか、市政への手紙・メール、陳情・要望については、概ね順調に実施することができました。</p>		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	<p>eモニターは、登録者数の増加に伴い経費が増加している一方で、回答率は過去5年の平均70%台と伸び悩んでいることから、事業開始から10年目の令和6年度末をもって一時休止とし、令和7年度からより効率的・効果的な手法を検討することとしました。また、市政ふれあい懇談会は、参加人数は若干増えたものの、参加者が2桁に届かない地区もあることから、今後、開催地区を統合することや年間の開催回数について検討を行います。</p>		

19	事業名	人材育成の推進		担当部課	企画総務部 人事課
	事務事業の目的・概要	<p>複雑高度化する行政需要に対応していくため、多様で質の高い人材を確保するとともに、職員研修や人事評価制度などにより、人材育成に努めていきます。</p>			
	事業に対する評価／コメント	ほぼ順調	<p>職員研修は研修計画のとおり実施し、その受講者数が前年度と同程度あることに加え、管理職登用試験の受験者数が前年度に比べ増加したことを踏まえ、ほぼ順調と判断しました。</p>		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	<p>社会情勢等の変化により複雑高度化する行政需要に対応可能な人材育成を推進するため、令和7年度中に人材育成基本方針を見直す予定です。</p>		

20	事業名	シティプロモーションの推進	担当部課	企画総務部 秘書広報課
	事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の知名度向上とイメージアップ、市民の郷土愛を醸成するため、都心への交通利便性や子育てのしやすさ、手賀沼に代表される豊かな自然、白樺派の文人たちが集った地ならではの歴史文化資源など、さまざまな魅力の発信を戦略的に進めます。</li> <li>・子育て世代や若者が「住みたい」「住み続けたい」、親世代が「住むことをすすめたい」と思えるよう、情報の受け取り方や興味、関心に合わせ、あらゆる媒体を活用して市の魅力を効果的に発信していきます。</li> <li>・市民、団体、大学、事業者などと連携して市の魅力の創出・発信に取り組みます。</li> </ul>		
	事業に対する評価／コメント	順調	<p>シティリビング東京(WEB版含む)に掲載した広告に対するアンケート結果は好意的なものが多く、8割以上の回答者が我孫子の印象が良くなったと答えました。SUUMOに掲載した広告については、同時期のお他広告と比較し、クリック率や閲覧数が多いとの結果が出ました。以上から、本事業の評価区分「順調」としました。</p>	
今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業を拡大する	<p>SUUMOへの広告掲載については、令和6年度と同様に実施します。また、シティリビング東京(WEB版含む)については、令和6年度のアンケート結果を踏まえ、令和7年度は、掲載回数を年2回に増やし、市内東側地区に特化した広告も掲載し、魅力発信の充実を図ります。</p>		